

記載例

式第1号(第1条、第2条関係)

(表)

理学療法士等修学資金貸与申請書

ふりがな	ふくしま ももこ	男	学 校 等 の 名 称	〇〇医療専門学校
氏 名 (生年月日)	福 島 桃 子 (平成〇〇年〇月〇〇日)	女	在籍する学科等の職種	理学療法士(夜間部)
住所 (住民票上の住所ではなく、 実際に住んでいるところ。)	〇〇〇-〇〇〇〇 〇県〇〇市〇〇〇 電話 090(1234)5678	家 族 所 住	〒960-8670 福島県福島市杉妻町 電話 024(521)2847	
貸与期間	令和7年4月 から 令和8年3月 まで	申請者及び申請者の主たる生計維持者の状況	学 資 金 月 額 50,000円 金に相当する額 200,000円	
主たる生計維持者について、募集のお知らせの「4 申請手続き等」の⑥を参照してください。				
所得(税込み)				
福島桃子	本人	18	学生	0円
福島太郎	父	50	会社員	同居・別居 6,500,000円
福島花子	母	48	会社員(パート)	同居・別居 1,100,000円
申請者自身の考える理由を具体的に記載してください。				00円

通常課程ではなく夜間部等に在籍している場合、記載してください。

入学金は、1学年の方で希望者のみに支給(30万円上限)
希望する場合、入学金の支払いを確認できる書類を添付してください。
なお、日本学生支援機構の給付奨学金の対象者で入学金が減免となる方は、減免後の金額(学校に実際に納付する金額)を記載してください。該当する方については入学金の支払いを確認できる書類の添付は不要です。

養成施設に在学している申請者の現住所を記入。
(住民票上の住所ではなく、実際に住んでいるところ。)

日中に連絡がつく番号(携帯電話など)を記載してください。

貸与期間は原則1年間とし、来年度以降も継続貸与の対象で、申請を希望する場合は、毎年度申請が必要になります。

提出する所得証明書等から転記してください。

理学療法士等を志した理由

幼少期に交通事故に遭い入院した際に、入院先の病院の理学療法士の方のおかげで嫌いだったりハビリを乗り越えることができ、この職業に就きたいと思うきっかけとなりました。

福島県内で就業を希望する理由

生まれも育ちも福島県であり、地元愛が強いです。震災から〇〇年が経過したものの、未だ本県の医療従事者の不足は顕著であり復興への力になりたいと思っています。

同種の修学のための資金については、募集のお知らせの「1 貸与対象者」の（5）を参照してください

※ なお、日本学生支援機構の給付奨学金のみを借受又は受給している場合は「無」に○をつけてください。

同種の修学のための資金の借受又は受給の有無		有 ・ 無				
卒業後の就職希望 市町村と就業先		南相馬市、病院か老人保健施設				
連 帯 保 証 人	氏名	福島 三郎	生年月日	昭和○年○月○日	本人との関係	叔父
	住所	郵便番号(〒○○○-○○○)	職業	会社員		
		○○県○○市○○番地		○○株式会社		
	電話番号(090-2345-6789)	(税込み)	5,800,000円			
証 人	氏名	福島 太郎	生年月日	昭和○年○月○日	本人との関係	父
	住所	郵便番号(〒○○○-○○○)	職業	会社員		
		○○県○○市○○番地	勤務先	○○株式会社		
		電話番号(090-1111-1111)	年収(税込)	7,000,000円		

上記記載事項
理学療法士等
2条の規定に
なお、貸与
期間を福島県

福島県知事

以下に掲げる方は、連帯保証人となることができません。

- ア 未成年、成年被後見人、被保佐人、民法第17条第1項の審判を受けた被補助人
- イ 修学資金の返済債務を負える程度の資力を有していないと認められる方
- ウ 税金（国民健康保険料、住民税、固定資産税、自動車税など）や公共料金を滞納している方

貸与条例第

の三相当の

日

申請者 氏名（署名） 福島 桃子

きは、その返還について連帯してその責め

連帯保証人 氏名（署名） 福島 太郎

連帯保証人 氏名（署名） 福島 三郎

申請者、連帯保証人2名がそれぞれ必ず自身で署名してください。筆跡が同じだと疑われる場合、申請を受け付けることができない場合があります。

なお、貸与内定となった場合には、連帯保証人2名の本人確認書類の提出を求めます。

理学療法士等修学資金貸与申請書（様式第1号）
記載上の留意事項

- 1 様式は、両面印刷としてください。
- 2 「在籍する学科等の職種」欄には、理学療法士・作業療法士・診療放射線技師・歯科衛生士・臨床検査技師のいずれかを記入してください。
※ 通常課程でなく夜間部等に在籍の場合、（夜間部在籍）等記入してください。
- 3 「貸与申請額」欄、「入学金に相当する額」には30万円を限度として入学金に相当する額を記入してください。希望する場合、入学金の支払いを確認できる書類を添付してください。日本学生支援機構の給付奨学金対象者で入学金が減免となる方は、減免後の入学金（学校に実際に納付する金額）を記載してください。（該当者は入学金の支払いを確認できる書類の添付不要。）
なお、希望しない方については空欄で差し支えありません。
※ 対象は、令和7年度入学生の方のみです。
- 4 「貸与期間」欄には、令和7年4月から令和8年3月までと記入してください。
（令和8年度（2026年度）以降も養成施設に在学する場合であっても、毎年貸与申請していただくこととなります。）
- 5 「前年の所得（税込み）」欄については、「令和7年度所得証明書」（令和6年1月から令和6年12月までの期間の所得を証明する書類）を参考に記入してください。（年金所得についても記入してください）。
なお、提出していただく所得証明書は、「申請者及び申請者の主たる生計維持者」欄に記入されている方全員分となります。
所得が「0円」、市町村民税所得割非課税世帯、所得が少額のため所得証明書が発行されない場合は、「課税証明書」を提出してください。
生活保護受給世帯については、それを証する書類を提出してください。
（記載例の場合：本人、父、母、計3通分を提出）
- 6 「同種の修学のための資金の借受又は受給の有無」欄には、募集のお知らせ「1 貸与対象者」の（5）に該当するか確認のうえ「有」「無」のどちらかに○をしてください。なお、日本学生支援機構の給付奨学金のみを借受又は受給している場合は「無」に○をつけてください。
- 7 連帯保証人のうち、1人は親族、もう1人は独立の生計を営み、かつ、修学資金の返還債務を負える程度の資力を有している成年者としてください。
2人の連帯保証人は別生計であることを条件とします。
- 8 申請書は控え（写し）をとっておいてください。
- 9 訂正する際は、二重線を引き、訂正印を押してください。